



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK
マッシー川口の
 from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

from New York

「ニューヨークでウェディング!」の巻

ハロー、元気にしてる? 突然ですが、独身のアナタ、将来ニューヨークで結婚式しませんか? 私がコーディネイトしますよ~。(^^) こちらでは10月までは結婚シーズン。マンハッタンのあちこちの教会の前で、親戚や友人に祝福を受けながらリムジンに乗り込む新郎新婦を見かけるよ。実は私も、I got married!! ウフフ。

異文化の集合体マンハッタンでは、結婚式もカトリックやプロテスタント、ユダヤ教、ギリシャ聖教、ヒンズー教、イスラム教などなど、それぞれの人たちの宗教に基づいて、儀式の仕方も多種多様なので祝い方もさまざま。ちなみに私は1706年創設の、First Presbyterian Church ([Jump www.firstpresnyc.org](http://www.firstpresnyc.org)) という古い教会で式を挙げたけど、牧師さんもお世話になってる方なので、やっぱり、涙、涙で、感激しちゃったよ。

ところで、レセプションと言われる披露宴は、簡単にホテルでもできるけれど、個性を好むアメリカでは、場所から何から自分たちで探すカップルが多いみたい。できない場合はウェディングコーディネーターに依頼するのも可能。だいたい予算の20パーセントが相場だった。

日本の披露宴と一番違うのは「ダンス」が大きな位置を占めることネ。日本の披露宴では、新郎新婦は「おひな様」みたいに、じっと座ってるけど、こちらではプライド&グルーム(新郎新婦)が登場したら、まずは「ファーストダンス」で、2人のスロージョウダンからパーティーが始まるの。御祝いにやってきたゲストもカップルで次々にそこに参加して盛り上げるのヨ。その後、新婦&新郎の父親のダンス、新郎&新婦の母親のダンスと続き、そして昔の「ディスコ」のノリでクライマックス! ヒエー、どこでもすぐ踊る習慣のない日本人には驚きだよ! 初めてアメリカ人の友人の結婚式に招待された時、花嫁がゲストとドレスを振って踊っている姿を見て@@) ビックリ! やっぱりアメリカ人は根っからカジュアルなのねー。

私の披露宴はグラマシーの「プレイヤーズ」というアメリカ俳優の社交クラブ。ピアノでのカクテルパーティーのあとは、黒人のソウルバンドに依頼していたので、70~80年代のブラックミュージックを演奏してもらい、ゲスト達も懐かしのナンバーに腰をくねくね喜んでくれて狙いもバッチリ。結婚式は楽しくなきゃね。私もスピーチのあとは、つい花嫁を忘れてベールをフリフリ、ハマりました。あ、そう、アメリカのウェディングドレスは、ダンスのために、後ろに隠しボタンがあり、式の後は長い裾もボタンにひっかけて短くできるのよ。

披露宴に必要な不可欠な音楽は、バンドを依頼するのが一般的だけど、DJを雇って流れに沿って選曲してもらうのも可。また、ウェデ



カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。

[Jump members.tripod.com/~masshy](http://members.tripod.com/~masshy)



ィング専門のプロダクションもあるので、オフィスに出向いてビデオで演奏などを聴かせてもらい、予算に合わせて多数のバンドの中から好みのバンドを選ぶわけ。お値段はバンドの実力にもよるけど、うまいバンドだと6人のミュージシャンの場合、披露宴4時間の演奏で約3000ドル(本日の為替レート: 1ドル106円として約32万円)くらいはかかるぞ。高いようだけど、お客さんを楽しませる鍵になるからはずせないのよね。クラシックももちろんOK。さすがエンターテイメントの街ニューヨーク! こういうプロのウェディングバンドが300以上あるんだって。

披露パーティーの場所も大きくわけて2種類あって、レストラン形式で調理場がある場所と、場所だけレンタルして、ケータリングでテーブルから椅子、食器とお食事まで運んで、ディナーをする方法があるの。ニューヨークらしく、マンハッタンの景色が綺麗なリバー沿いのロフトや近郊のお城での披露パーティーも人気よ。

ところで、インターネットも力強い味方。いろんなサイトでパーティー会場の写真が見れて予約も可能。またウェディングドレスだって、各デザイナーの新しいスタイルが逐一チェックできるもんね。それから、ウェディングの6か月前、3か月前、2週間前、前日、と何をやるかのチェックリストや、儀式のしきたりや、結婚披露のやり方、写真の撮影方法、招待状の書き方のサイトだってあるワ。ネット時代に生まれたおかげで新郎新婦はうんと便利になりました!

そうそう、フローリスト(花屋)のサイトも大事なのよ。教会や披露会場などを飾るお花も本人で決めなきゃいけないのね。花嫁が持つブーケから、祭壇にどんな花を置くか、教会の席につける飾りは? 披露宴のテーブルの花は何色で? などなど、選択要素がいっぱいなのは日本と同じ。ウェディングケーキやディナーのメニューの打ち合わせも同じね。「どう思います?」なんて、先

方に救いを求めても「Up to you」(貴方次第ですよ)なんて言われちゃうのがオチ。アメリカでは、本人の好みや意志をはっきり主張しないと相手にされないから大変だわね。

ねえ、誰か私に結婚コーディネイト頼んでくれないかなあ? おめでたい私は、一生懸命頑張っちゃうわ。(^^)

さて、アメリカはもうすぐハロウィーンの季節。スーパーにはランタン用の本物の大きなカボチャがお目見えしてるよ。結婚式には美しい花嫁がハロウィーンのコワイ魔女に変身しませんように。うふふふ、じゃあね。Love :)

- すてきなウェディングのためのサイトはココね!
- こんな素敵なお城みたいなのでもできるよ
- [Jump www.custommadecake.com/ottokahnmanison.htm](http://www.custommadecake.com/ottokahnmanison.htm)
- ウェディングドレスのサイト
- [Jump www.davidsbridal.com](http://www.davidsbridal.com)
- [Jump www.moonlightbridal.com](http://www.moonlightbridal.com)
- フローリストのサイト
- [Jump www.aristonflorist.com/wedding.html](http://www.aristonflorist.com/wedding.html)
- プランはこちらで、
- [Jump www.zoofifth.com/planning.html](http://www.zoofifth.com/planning.html)

Illust: Kido Satoko





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp